

【できるからできない】

～やり方～

- ①四つ這いで動き回ってみる
- ②隣の人の四つ這いの動きを介助する

～結論～

四つ這いは自分でやると簡単だけど、
他人の動きを手伝うのは難しい
介護は、自分ができるからこそむずかしい仕事

【1円 VS 10000円】

～やり方～

- ①「1円」の立位介助をしてもらう
- ②「10000円」の立位介助をしてもらう

～結論～

意識する金額で立位介助の質が変わるなら、
意識ひとつで介助は変わる可能性がある

【ほんのわずか1cm】

～やり方～

- ①いつものように立ってもらう
- ②さっきより足を1cm前に出して立ってもらう

～結論～

足を1cm出しただけで立ちにくくなる
介護は、1cmで変わる可能性がある

【アカンベ】

～やり方～

- ①隣の人に手の平を見せる
- ②隣の人にアッカンベーをする
- ③隣の人に口の中を見せる

～結論～

すごく勇気が必要だったと思う
でも、お年寄りには風呂で裸も見せてくれる
介護は、思った以上にすごい仕事

セミナー講師**初心者**が 冒頭4分で受講者の心を掴む **わくわく**ワーク集

介護老人保健施設
ケアセンターゆうゆう
安藤祐介

静岡県焼津市田尻4
Tel: 054-625-0321
Fax: 054-625-0322

【手ト物】

～やり方～

- ①講師の手に触れてもらう
- ②講師が持つペン(物)に触れてもらう
- ③手と物との触れやすさの違いを感じてもらう

～結論～

手より物の方が触れやすい
手は、それだけで特別
介護は、その手を使う特別な仕事

【This is よい介助】

～やり方～

- ①隣の人を移乗介助してみる
- ②『よい介助』できた介助者は手あげて？
- ③できなかった介助者は手をあげて？

～結論～

した介助の良し悪しは、『利用者』が決めるもの
介助者ひとりだけで決めないで

【指1本ゲーム】

～やり方～

- ①やり慣れた方法で、隣の人を立位介助してみる
- ②指1本で、隣の人を立位介助してみる

～結論～

指1本で介助しろと言われると戸惑う
でも、立位のポイントを知っていれば挑戦できる
(答: 介助者の指を掴んでもらい、前屈みを促す)

【紅白色合戦】

～やり方～

- ①赤と白、どちらが好きか選んでもらう
- ②赤と白以外にも選べるなら、何色が好き？

～結論～

選択肢をつくると、選んでしまう
でも、選択肢がなければ答えは無限大∞
介護も答えを用意しない方がいい
利用者1人1人の、答えがあるはずだから